

SCENARIO OF THE SUTURE

AKITOSHIDAI INTERNATIONAL ART VILLAGE PRESENTS

縫合線のシナリオ展

2005年3月5日(土) → 3月20日(日) 12:00-17:00 秋吉台国際芸術村 入場無料

AKITOSHIDAI INTERNATIONAL ART VILLAGE PRESENTS A TRANS_2004-2005 RESIDENCE SUPPORT PROGRAM "SCENARIO OF THE SUTURE" AT AKITOSHIDAI INTERNATIONAL ART VILLAGE SAT. 05 - SUN. 20 MARCH 2005 ANN EVERTON CATHIN ANDERSON ORGANIZED BY AKITOSHIDAI INTERNATIONAL ART VILLAGE SUPPORTED BY YAMAGUCHI PREFECTURE THE YAMAGUCHI BOARD OF EDUCATION AKIHO-TOWNSHIP THE AKIHO BOARD OF EDUCATION HIRO-CHO THE HIRO BOARD OF EDUCATION THE TAMAOKUNI BOARD OF EDUCATION
秋吉台国際芸術村公事制作 TRANS_2004-2005 レジデンス支援事業「縫合線のシナリオ」秋吉台国際芸術村 2005年3月5日(土) - 20日(日) 12:00-17:00 アン・エヴァートン・カトリン・アンダーソン 主催=財団法人山口県文化振興財団 秋吉台国際芸術村 後援=山口県 山口県教育委員会 秋芳町 秋芳町教育委員会 美東町 美東町教育委員会 美祿町 美祿町教育委員会

SCENARIO OF THE

AKITOSHDAL INTERNATIONAL ART VILLAGE PRESENTS

SUTURE

1997年のプレ・オープン事業から3年間にわたってのべ70組のアーティストを招へいし、作品の創作・発表活動を支援してきた秋吉台国際芸術村アーティスト・イン・レジデンス事業。その間、公募制レジデンスでは今年も含め、約1000人の応募があった。そして本展には応募者約199組という激戦を勝ち抜いた9名のアーティストが作品を発表する。秋吉台国際芸術村のレジデンスで初めて出会った参加アーティストのアン・エヴァートンとカトリン・アンダーソン。そこから彼女たちは展覧会を開催するため、3ヶ月にわたる創作活動に取り組み始めた。タイトルのSCENARIO OF THE SUTURE(シナリオ・オブ・ザ・スチャー)とは、別々のバックグラウンドを持った9人の出会いの際に生まれた裂け目を「縫い合わせ」(SUTURE)過程で出来た縫合の跡、その筋(SCENARIO)を暗示している。初対面の彼女たちは、どのように一つの展覧会を縫い上げたのか。また、その筋立てはいかなるものか。全ては会場で明らかに!!



アン・エヴァートン ANN EVERTON (1981年アメリカ合衆国生まれ/ニューヨーク在住/美術作家) 左側

2003年6月ロンドン大学ゴールド・スミス カレッジ(ロンドン)留学。2004年5月コロンビア大学バーナードカレッジ(ニューヨーク)首席卒業、美術史美術コンセントレイター専攻、学部長表彰者(2001-2002)。彼女の生まれ故郷であるボルティモアの町中に見られるグラフィティ・アートについて、美術史上の巨匠について語るように取り上げる。芸術教委ドキュメンタリー番組のクリシェを取り入れたビデオ作品などを制作して来た。彼女の関心は80年代以降のユースカルチャーの陰影を背景とした日常的表現にあり、彼女にとってアートとは、様々なイデオロギー的な価値から離れた個人的かつ共有可能な経験なのである。

カトリン・アンダーソン CATRIN ANDERSSON (1974年スウェーデン生まれ/マルメ[スウェーデン]在住/美術作家) 右側

1995年から1997年トラッド・スクール・オブ・アート(スウェーデン)のアート・ファウンデーションコース在籍。1999年、GERLESBORGSKOLANにて言語研究。1999年から2003年までエジンバラ美術大学にてビジュアルコミュニケーションを学び、写真学士取得。2000年バンクーバー(カナダ)のエミリー・カー美術デザイン学校メディア・アート・プログラムを受講。阿らかの目的や機能を果たすために制約された空間における、「ユートピア」という観念について考察する。考察の対象となるのは、例えばオリンピック村のようなポラリス空間とその事後的な使用における住民との関係など。

◎オープニングトーク(入場無料)

■日時=2005年3月5日(土) 18:00-18:00 / 会場=秋吉台国際芸術村2F研修室2

本展出品アーティストのアン・エヴァートンとカトリン・アンダーソンがそれぞれの作品と芸術村での制作についてお話しします。会場からの質問にもお答えしますので、お気軽にご来場ください。(逐次通訳有り)

※トークの終了後交流会を開催いたします。会場はレストラン「若新」、参加料は一般1,500円/学生500円となります。アーティストとの交流のチャンスですので皆様ぜひご参加下さい。

◎出張トーク

「AIT ARTISTS TALK #18 WITH ANN EVERTON AND CATRIN ANDERSSON」(料金 一般=1,000円/学生・AIT会員=800円)

■日時=2005年3月11日(金) 19:00- / 会場=AIT(アーツ・インシアティヴトウキョウ)

AITと秋吉台国際芸術村のコラボレーションにより、AITのアーティストトークにアン・エヴァートンとカトリン・アンダーソンが参加します。当日はレジデンスでの創作の様子や滞在中に制作したアーティストブックの紹介を含めてお話しします。

お問い合わせ:

NPO法人アーツ・インシアティヴトウキョウ(AIT) 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-3ツインビル代官山A-502

TEL 03-5489-7277 FAX 03-3780-0266 E-mail: office@a-i-t.net URL: http://www.a-i-t.net

関連企画

縫合線のシナリオ展

2005年3月5日(土) → 3月20日(日) 12:00 - 17:30 秋吉台国際芸術村 入場無料

AKITOSHDAL INTERNATIONAL ART VILLAGE PRESENTS A TRANS. 2004-2005 RESIDENCE SUPPORT PROGRAM "SCENARIO OF THE SUTURE" AT AKITOSHDAL INTERNATIONAL ART VILLAGE SAT. 05 - SUN. 20 MARCH 2005 ANN EVERTON CATRIN ANDERSSON ORGANIZED BY AKITOSHDAL INTERNATIONAL ART VILLAGE SUPPORTED BY YAMAGUCHI PREFECTURE THE YAMAGUCHI BOARD OF EDUCATION SHUHO-TOWN THE SHUHO BOARD OF EDUCATION MIYE CITY THE MIYE BOARD OF EDUCATION MITO-TOWN THE MITO BOARD OF EDUCATION

秋吉台国際芸術村企画制作 TRANS. 2004-2005 レジデンス支援事業「縫合線のシナリオ」秋吉台国際芸術村 2005年3月5日(土) - 20日(日) 12:00-17:30 アン・エヴァートン カトリン・アンダーソン 主催=財団法人山口県文化振興財団 秋吉台国際芸術村 後援=山口県 山口県教育委員会 秋芳町 秋芳町教育委員会 美東町 美東町教育委員会 美祿市 美祿市教育委員会

秋吉台国際芸術村 Akiyoshidai International Art Village 〒754-0511 山口県美祿郡秋芳町秋吉 50 TEL 0837-63-0020 info@artnet.or.jp http://www.artnet.or.jp

★3月5日より秋吉台国際芸術村にて待望の大公開★

秋吉台国際芸術村までのアクセス

●山口宇部空港から車で約1時間 ●中国自動車道美祿I.C.から車で20分 ●中国自動車道小郡I.C.から車で30分 ●JR新山口駅から車で40分 ●湯田温泉バス停から秋吉行きバスで八重が原バス停で下車、徒歩10分 ●JR山口駅から秋吉行きバスで八重が原バス停で下車、徒歩10分 ●JR美祿駅から防府行きバスで八重が原バス停で下車、徒歩10分

